

パナソニック映像

「リモート&ネットワーク活用のイベントサポート事業」を推進

東京オフィス内に「KAIROS スタジオ」を開設

コンパクトかつハイクオリティな映像で様々なイベント開催をサポート



東京制作センター内に設置された「KAIROS スタジオ」

パナソニック映像(株)が、東京・天王洲の東京制作センター内に「KAIROS スタジオ」を開設し、「リモート&ネットワークを活用したイベントサポート事業」を積極的に展開していく。コロナ禍およびアフターコロナにおいてリアルとバーチャルのハイブリッドなイベント提供が必須となっていく中、同社では「コロナ禍における映像ソリューション」に関する様々な取り組みとして、これまでの知見と技術を生かして「ウェビナー」や「バーチャル展示会」のサポートを行っている一方、新たな「リモート&ネットワークのイベントサポート」を提供する。豊富な入出力に対応するパナソニックの次世代ライブ映像制作 IT/IP プラットフォーム「KAIROS (ケイロス)」を中核として、複数カメラの使用や IoT クラウドプラットフォーム「Media Bridge」などを効果的に活用した演出が可能で、PTZ カメラ使用による省人化、リモート運用による移動コスト削減などにより、コンパクトなシステムながらテレビ放送並のハイクオリティな映像サービスを実現する。同社では「展示会」「各種イベント」「スポーツ中継」から「学校行事」まで視野に入れて同事業を推進していく。「KAIROS スタジオ」にはメインフレーム「Kairos Core 100」、コントロールパネル「Kairos Control」、GUI ソフトウェア「Kairos Creator」ほかネットワーク機器などを導入、8 月から本格的な運用を開始するほか、将来的にはポストプロ業務との連携も視野に入れているという。

KAIROS を核にリモート&ネットワークを活用

新たな取り組みとなる「リモート&ネットワークを活用したイベントサポート事業」の推進について、同社 取締役の竹内誠氏は「コロナ禍におけるイベントや展示会を開催する際の課題として、

感染リスクのほか、人手不足、ブース確保・設営、遠方開催、開催期間等がありますが、昨今、5Gを含めてネットワークの領域が広がり、ネットワーク回線の利用により遠隔地からの制御を行うことが可能になった一方、大量のデータをセキュアに蓄積できるクラウドの活用が進められています。例えば、IPなどのネットワークに直接接続できる機能を装備したカメラをはじめ様々な機材を使用することで、その場に行かなくても、ネットワークを利用してリモートによる運用ができるようになってきました。パナソニックの「KAIIROS」を導入することで、KAIIROSを核としたリモート&ネットワーク イベントをサポートするソリューション事業を展開していくこととしました」と説明する。



竹内誠一氏

同社の、リモート&ネットワーク イベントサポートの事例としては、2020年8月に開催した「東京 03」単独公演の配信がある。この事例については、同10月に開催した「Panasonic Visuals VIRTUAL EXHIBITION 2020」でも紹介している。

同案件を担当したテクニカルグループ 撮影チームの坂口政也氏は「会場となった東京・有明のパナソニックセンターと、天王洲のパナソニック映像 東京制作センターをネットワークで結び、遠隔操作を行いました。パナソニック映像側にはテクニカルなスタッフは置かず、リモートカメラ1台の映像で会場とのやりとりを行いました。カメラコントロールも会場側のリモートコントローラーで行いました。会場内は、IPネットワークによりLANケーブル1本でカメラの映像を伝送。



坂口政也氏

AG-CX350はLANケーブル1本で映像だけでなくタリー、カメラ調整、アイリス調整、ズームやフォーカスなどもリモートで行えるので、カメラマンの負担が減りつつ、予算的にもリーズナブルにシステムを構築できます。すごくシンプルだけど内容的にはテレビスタジオ&大きなカメラと遜色ないクオリティでライブ配信を実現できました。特に中継地点が増えていけばその分だけスタッフの移動コストなどを削減できる点に可能性を感じました」とする。



←「東京 03」単独公演の現場におけるオペレーション

リモート＆ネットワークの活用で「新たな展示スタイル」

パナソニック映像では、「リモート＆ネットワークのイベントサポート」のターゲットとして、「展示会」「各種イベント」「スポーツ中継」「学校行事」の4つを想定している。

コロナ禍によってリアルな展示会の開催は困難だったが、従来の「リアルな会場に来ることができない人に向けたライブ配信」だけでなく、リモート＆ネットワークの活用により「新たな展示スタイル」を実現できる。

リアル会場とリモート先をネットワークでつなぐことで、例えばある商品の発表会などであれば、他社製品との比較などを別会場で行ったり、開発者が開発現場からリモートでリアルタイムにQ&Aに対応することで会場スペースやコストの削減ができ、さらに、スペシャルコンテンツをクラウド上に用意しておき、特定の顧客だけに見てもらうなど、今までになかったような様々な展示や演出手法を実現できる。

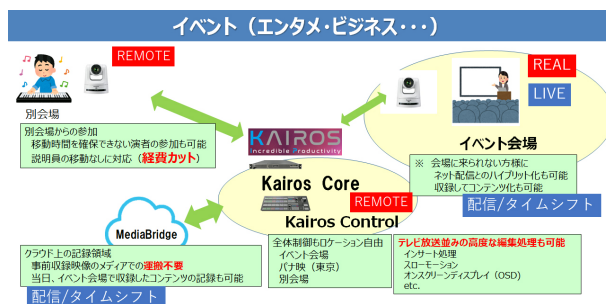
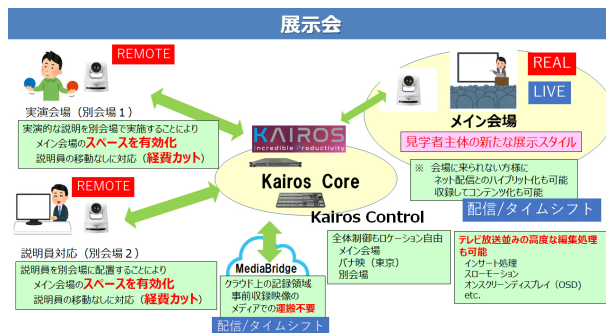
メイン会場や別会場、パナソニック映像間をネットワークで結ぶことにより、メイン会場内だけでなく、パナソニック映像内「KAIROS スタジオ」からイベント全体のコントロールを行うこともできる。さらに、こうしたリアル＆ネットワーク配信のハイブリッド化だけでなく、これらを収録したコンテンツ化することも可能だ。

竹内氏は〈簡単・スピーディに、ハイクオリティな映像でイベントをサポートする。時間や経費などをカットできるだけでなく、KAIROS は放送用中型スイッチャークラスの機能を有しており、インサートやスローモーションなども含めて、テレビ放送にも十分耐えうるクオリティを提供できます。「これを使って展示会をやりませんか?」というところに営業をかけていきたい〉としている。

同様のことが、エンターテインメント系、ビジネス系などあらゆるイベントでも実現できる。メインとなるアーティストや説明員は会場にしながら、ネットワークを介して別会場（海外含む）にいるスペシャルゲストのパフォーマンスをリアルタイムで披露したり、クラウド上に先撮りしておいたスペシャルコンテンツをインサートするなど、多彩な演出も可能となる。

スポーツ中継や学校行事もターゲットに

また、これまでは予算の関係でテレビでは中継できなかったスポーツを、テレビ放送クオリティでネットによってライブ配信することもできる。解説者が別会場から映像を見ながら解説を行ったり、クラウド上にある事前取材した裏話やエピソード、前日の試合などの映像のインサート処理、スローモーションやオンスクリーンディスプレイなども可能。〈スポーツの内容によって異なりますが、カメラの台数を増やすことができるので、スポーツの内容に合わせて必要な台数のカメラを設置し、リモートで制御することで省人化や移動費の削減が可能となります〉（竹内氏）



特に、バレーボールやバスケットボール、水泳など会場やコートのサイズが一定のものであればPTZカメラを活用することでコストダウンが見込めるという。

さらに、同社ではこうしたソリューションを入学式、卒業式、学園祭などの「学校行事」レベルでも提案していくという。竹内氏は「学校行事では予算も絞られると思いますが、例えばアフターコロナにおける学校行事では、会場に来られない人にリアルタイムでライブ配信するだけでなく、来賓が別会場から参加することもでき、プログラムアウトでテレビ番組レベルのコンテンツができていくので、それをアーカイブ配信したり、当社にはディスクオーサリング部門もあるので、パッケージ化に対してもトータルでサポートできます。機材選択や省人化、移動コスト削減などによって、学校行事レベルでもテレビ放送クラスのコンテンツができるため、意外と可能性があるのではないかと考えています」と期待を寄せる。

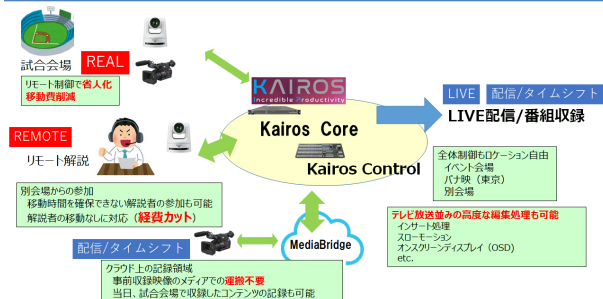
「リモート&ネットワーク」を事業の柱の1つに

今回導入した KAIROS について、竹内氏は「ソフトウェアベースで作られているため容易に機能拡張できることに加え、ネットワークに対する豊富な入出力が大きな特徴だと考えています。従来どおりの SDI だけでなく、ネットワークを介して入力される IP 素材も、帯域が確保できていれば複数チャンネルを流すことも可能なので、コンパクトにできます。KAIROS は将来的にはどんどん機能を拡張していき、映像スイッチャーだけでなく様々な特殊効果も含めて可能になっていきます」とし、「リモート&ネットワーク活用のイベントサポート事業」の中核システムとして運用していくほか、ネットワークを介して他の編集室などと連携していくことも検討しているという。竹内氏は「ネットワーク経由だけではなく、同軸の SDI ケーブルも接続できるので通常のポストプロ業務にも活用できます。将来的にはルーティングスイッチャー的な活用も考えています」とする。

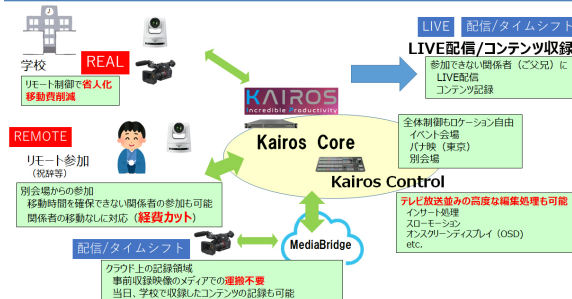
また、今後の「KAIROS スタジオ」について、代表取締役社長の宮城邦彦氏は「天王洲で全てを制御する業務が増えるのか、出先で使用するケースが多いのかを、今後見極めていきたいと考えています。逆に言えば、コンパクトなのでその双方での運用が可能であるということです」。「リモート&ネットワーク活用のイベントサポート事業」については「コロナの影響などで、イベント関連ソリューションの動きが急速に早まってきた中で、パナソニック映像としてはいち早く「リモート&ネットワーク活用のイベントサポート事業」の取り組みを進め、当社事業の柱の1つとしていきたい」と話している。

◇パナソニック映像 <https://panasonic.co.jp/cns/pvi/>

スポーツ中継（プロ・大学・高校・体育祭・・・）



学校行事（入学式、卒業式、学芸会・・・）



宮城邦彦氏